

# イクメンプロジェクト

## ■「イクメンプロジェクト」とは

- 積極的に育児をする「イクメン」及び「イクメン企業」を周知・広報するプロジェクト（H22年度から実施）
- 「イクメン企業アワード」や参加型の公式サイトなどを通じて男性の育児休業取得に関する社会的な気運の醸成を図るとともに企業及び個人に対し育児と仕事の両立に関する情報・好事例等を提供し、男性の育児と仕事の両立の促進を図る。



### 数値目標

- ★ 男性の育児休業取得率：3.16%(2016年度) → 13%(2020年度)
- ★ 第1子出産前後の女性の継続就業率：53.1%(2015年) → 55%(2020年)

## 平成29年度 活動内容（予定）

### 企業表彰及びサイト運営等

- ◆ 推進委員会の設置・運営
- ◆ イクメン企業アワード、イクボスアワードの実施
- ◆ イクメンスピーチ甲子園の実施
- ◆ 大学生を対象とした講座の実施
- ◆ 公式サイト運営（平成28年度アクセス数 約53万件）

男性従業員が育児と仕事を両立するための企業や管理職のキラリと光る取組を表彰

#### イクメン企業アワード2017（応募総数 42社）

【グランプリ】2社 【特別奨励賞】2社

#### イクボスアワード2017（応募総数 90名）

【グランプリ】2名 【特別奨励賞】2名



### セミナー実施等による周知広報

- ◆ 検討委員会の設置・運営
- ◆ ハンドブックやリーフレット等の広報資料の作成・配付
- ◆ 企業経営者や人事担当者を対象としたセミナーの開催

#### 【拡充内容】

#### ◆ 企業に働きかけを行う自治体を対象としたセミナーの開催

自治体において、管内企業に研修を開催することを目的として、担当職員を対象にセミナーを全国各地で開催

#### ◆ 中小企業向け研修資料の作成

中小企業が抱える課題をテーマに管理職や従業員が解決に向けて取り組む内容を想定

双方向からイクメンプロジェクトを運営し、男性の仕事と家庭の両立を推進

# 両立支援等助成金（出生時両立支援コース）

平成29年度予算額 8.8（11.7）億円

女性の継続就業や出産意欲向上の観点から男性の育児への関わりは重要であるが、他の先進国に比べ日本の男性は子育て等に費やす時間が非常に少ない状況。このため、男性の育児休業の取得に関する取組を行い、子の出生時に男性労働者に対し育児休業を取得させた事業主に対して一定額を支給する。**（2020年までの時限措置）**

**男性の配偶者の出産直後の休暇取得率→80%以上（2020年まで）：少子化社会対策大綱**

**男性の育児休業取得率→13%以上（2020年まで）：日本再興戦略2016**

## 【支給要件】

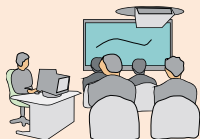
- 1 男性労働者が育児休業や育児目的休暇を取得しやすい職場風土作りのための取組を行っていること。
- 2 子の出生時（出生後8週間以内）に男性労働者が**連続14日以上（中小企業は連続5日以上）の育児休業**を取得したこと。
- 3 当該企業において、1人目の当助成金申請前3年以内に男性の育児休業取得者がいないこと。

【支給額】	中小企業	中小企業以外
育児休業 (1人目)	57万円 <72万円>	28.5万円 <36万円>
(2人目以降)	14.25万円 <18万円>	

※1年度につき1人まで支給

## 職場風土作りのための取組の実施

- ・制度の社内周知
- ・育児休業の取得勧奨
- ・管理職への研修の実施 等



## 1人目 育児休業 取得

連続14日以上取得  
(中小企業は連続5日以上)



## 2人目以降 育児休業 取得

